



# 多様なステークホルダーによるコンテンツ制作の高度化と放送環境のDX化を推進する協創の場、Media over IPコンソーシアムの設立を発表

JEITAでは放送設備のIP化「Media over IP (MoIP)」を推進する新たな組織、「Media over IPコンソーシアム」の設立を発表しました。本コンソーシアムは、放送事業者やITベンダー、放送機器メーカー、通信キャリアなど多様なステークホルダーが連携し、効率的かつ持続可能なコンテンツ制作環境を実現することを目指します。設立発表は、JEITAが主催する「Inter BEE 2024」の基調講演内で行われました。

## 設立の背景と目的

Media over IP (MoIP) は、映像や音声などのコンテンツをIPネットワークで通信する技術であり、近年、放送業界におけるデジタルトランスフォーメーション (DX) を支える重要な技術とされています。従来の放送設備と全く異なる技術であるIP技術を用いて、高い信頼性と可用性を持つシステム設計する事が求められるため、その導入には新たな技術的課題や人的課題が伴います。この課題を解決し、効率的で持続可能なコンテンツ制作環境を整備することを目的として、「Media over IPコンソーシアム」が設立されました。

## 【Media over IPコンソーシアムの役割】



## コンソーシアムの組織体制

コンソーシアムは一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) が運営事務局を務め、放送事業者、放送機器メーカー、ITベンダー、通信キャリア、Slerなど、多様な企業が参加する予定です。幹事会社にはTBSホールディングス、日本テレビホールディングス、フジ・メディア・ホールディングス、ソニーマーケティング、パナソニックコネクトなど業界を代表する11社が名を連ねています。

## 会長・副会長のご紹介

会長には、株式会社TBSホールディングス CTOであり、株式会社TBSテレビ 常務取締役を務める奥田 晋氏、副会長には、ソニーマーケティング株式会社 B2Bビジネス部 統括部長の小貝 肇氏が就任されることになりました。この2名のリーダーシップの下、コンソーシアムは具体的な活動を展開していきます。

## 活動内容と期待される成果

- **技術の普及**：国際標準規格に準拠した機器の相互接続テストや、MoIPプラットフォームの提案。
- **IP人材の育成**：放送技術者向けのセミナーやトレーニングを通じ、次世代のIPスキルを持つ人材を育成。
- **ワークフローの最適化**：制作、送出、配信の各工程がIP化によって従来のワークフローからの効率化や働き方のDX化について提案と概念図化。
- **官民連携の推進**：産業界全体での共通基準の策定や、関連省庁との連携を通じた市場の健全な発展への貢献。

## 今後の展望

Media over IPコンソーシアムは、2025年3月7日(金)の設立総会を経て、同年4月より本格的な活動を開始します。初年度は特に、参加企業間の連携を深め、放送業界全体のDXを実現する基盤底上げに注力する予定としています。さらに、全国の放送局や関連企業への普及を進めるため、積極的なPR活動も行う予定です。

引き続き、皆さまからMedia over IPコンソーシアムへのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



Inter BEE 2024にて行われた発足発表の様子  
小貝副会長：挨拶

本件の  
お問い合わせ

■ 公式ウェブサイト

■ E-mail

<https://www.moip.jp/>

[mediaoverip@jeita.or.jp](mailto:mediaoverip@jeita.or.jp)

Media over IPコンソーシアムのパンフレット

**Media over IP (MoIP) コンソーシアム**

**会員募集**

多様なステークホルダーによる協創  
コンテンツ制作の高度化と放送環境のDX化を推進するパートナー

従来の放送設備の運用に携わっている方が、Media over IP(MoIP)のシステムを導入する際、従来とは異なるテクノロジーで非常に高い信頼性と可用性を持つシステムの設計・構築・運用をしなければならないという課題が存在しています。本コンソーシアムは、ITベンダー・放送機器メーカー・Sier・放送事業者・通信キャリアといった多様なステークホルダーの協創により、ネットワーク環境下でのリソースシェアなどによりコンテンツ制作の効率化と持続可能な制作環境を実現し、コンテンツの高度化を図る事を目的として設立いたします。多くの関連企業様のご参加をお待ちしております。

**幹事会社**

株式会社TBSホールディングス	パナソニックネットワーク株式会社	ネットワークシステムズ株式会社
日本テレビホールディングス株式会社	池上通信機株式会社	リーダー電子株式会社
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	日本電装株式会社	Zabbbi Japan LLC
ソニーマーケティング株式会社	東京エレクトロニクス株式会社	

他：メーカー、大手通信キャリア、放送局、Sier等多数参加予定

**入会申込方法** Media over IPコンソーシアムホームページ、入会お申込みフォームよりお申し込みください。

**【会員資格】** 本コンソーシアムの目的及び事業に賛同する企業及び団体等。

**【年会費】** (正会員) **20万円** (税込) (客員) 原則として徴収いたしません。\*詳細はホームページ/入会案内をご覧ください。

設立総会の開催を2025年2月下旬に予定

**お問い合わせ** (一社) 電子情報技術産業協会 市場創生部 Media over IPコンソーシアム事務局  
[e-mail] [mediaoverip@jeita.or.jp](mailto:mediaoverip@jeita.or.jp) [web] <https://www.moip.jp/>

**Media over IP (MoIP)とは**  
映像や音声などのコンテンツをIPネットワーク経由で通信する技術

**協創サービスの具体化に向けたビジネス支援**

- 企業間連携: WGをベースとした事業者連携機会の提供
- 情報提供: MoIPに関する最新情報の提供
- 新たな人脈の形成: 業界の垣根を超えたビジネスパートナー発掘機会の提供

**事業発展に役立つ知の獲得**

- MoIP人材の育成: MoIPに関するセミナーや国内外のユースケースに関する研修機会の提供
- MoIPの普及: 業界としてMoIPをPRする事でより多くのユーザーの認知と理解を促進
- 官民連携: MoIP市場の健全な発展を見据えた層ではできない業界対応の実施

**入会によるメリット**

**コンテンツ制作の様々な場面を想定し、適用可能な放送システムのリファレンスモデルを策定**

参加する事で得られる効果  
ユーザー・メーカーによる共通のリファレンスモデルの策定により円滑なMoIP設備導入を推進

**ユーザーとベンダーの枠にとらわれことなく、MoIP時代に最適なコンテンツ制作の高度化を支援**

参加する事で得られる効果  
ワークフローのIP化・最新技術の活用により、持続可能な業務フローを実現

**IP技術に関しシステム導入と運用管理の知識と応用までスキルや能力向上を提供**

**近年での体系的なMoIP技術の習得セミナーの開催**

この研修は、専らに対してはモニター随時参加予定

- IP基礎講座①
- MoIP基礎講座②
- MoIP基礎講座③
- 運用管理講座④
- 最新導入事例
- 研修報告会

**IP基礎**

- Ethernet
- TCP/IP
- VLAN, STP
- MAC Address
- ARP

**MoIP技術**

- IP Routing
- Static Route
- OSPF
- LLDP
- Multicast (IGMP, PIM)
- PTP
- 標準規格 (SMPTE, MOSI)

**運用管理**

- SNMP
- Telemetry
- DNS
- DHCP
- 監視手法

**会員の交流促進・会員増強**

**会員向け活動成果や集約化したMedia over IP情報の周知**

- Media Over IPの普及に向けたホームページ作成等
- 地域放送局への活動の周知
- その他、市場創出に関する活動
- 会員交流の機会創出

**参加要員** ユーザー(放送局・プロダクション)、MoIP技術関連メーカー・ベンダー

**お問い合わせ** (一社) 電子情報技術産業協会 市場創生部 Media over IPコンソーシアム事務局  
[e-mail] [mediaoverip@jeita.or.jp](mailto:mediaoverip@jeita.or.jp) [web] <https://www.moip.jp/>